

I

学部教育の理念と目標

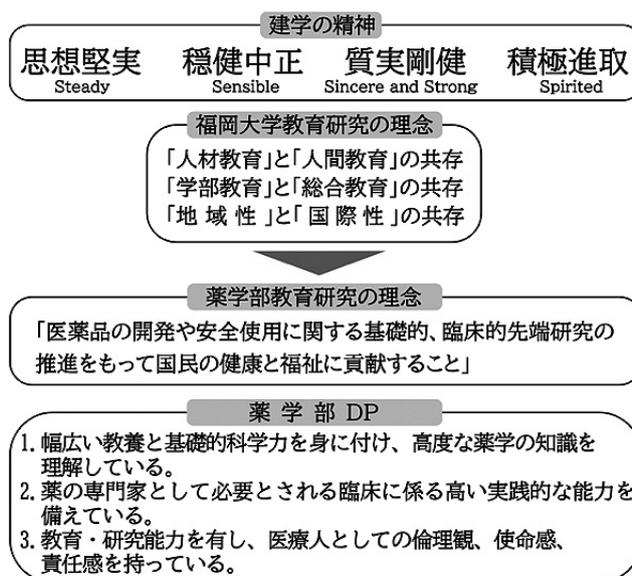
- 学部教育の理念と目標

学部教育の理念と目標

薬学部教育研究の理念と目的

薬学部長 ● 松 末 公 彦

近年の社会状況の変化、全人的医療への転換など21世紀の新しい医療のあり方を背景に、薬学部は平成18年度より4年制学部に加え、6年制学部が導入されました。これを機に、福岡大学薬学部は6年制薬学科に一本化し、本学の「建学の精神と三つの共存（教育研究の理念）」のもと、「医薬品の開発や安全使用に関する基礎的、臨床的先端研究の推進をもって国民の健康と福祉に貢献すること」を教育研究の理念としました。この理念に基づき、「医療技術の高度化、医薬分業の進展に伴う医薬品の安全使用及び医療の担い手としての質の高い薬剤師の育成という社会的要請に応えるため、基礎科学の総合を基盤としながら、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身に付け、臨床に係る高い実践的な能力を備えた薬剤師、並びに教育・研究者を養成すること」を教育研究上の目的としています。この目的を達成するための本学部のディプロマポリシー(DP 学位授与の方針)は、3項目(右図薬学部 DP 参照)からなり、これらの能力を修得した者に学士(薬学)の学位を授与しています。



令和4年度、全国6年制薬学部に通な教育指針である薬学教育モデル・コア・カリキュラムが改定され、本学部ではこの新たな指針に準拠するため大幅な教育カリキュラムの改正を実施しました。この新しいカリキュラムでは、全科目を基礎薬学・医療薬学・衛生薬学・臨床薬学・薬学研究に分類し、実践的な薬物療法や感染制御を学ぶための臨床系演習科目、医療倫理やコミュニケーション能力の強化のためのアクティブラーニング科目を増やし、急速なAI・デジタル化が進む医療業界に適応するためのICT関連科目を新設しました。更に、新たにがん薬物療法に特化した「がん薬物治療学コース」を設置しました。このコースは薬剤師国家試験の受験に必要な科目に加えて、付加的にがん薬物療法に必要な知識・技能を、講義・演習・実習形式で体系的に学ぶことができます。また低学年のリメディアル教育にも力を入れており、薬学教育支援センターの専任教員によるリメディアル授業や専門科目の確認試験に基づく補講授業などを実施します。更に、薬学共用試験や薬剤師国家試験の対策のための模擬試験や対策講義などを実施し、高い合格率の維持に努めます。学業のみならず、4年次からは研究室配属を行い、基礎及び臨床研究に直接携わることで、専門的かつ高度な知識と技能を修得しながら問題解決能力を涵養します。あわせて、研究室では他の学生や指導教員とのコミュニケーションを通じて、高い人間性と倫理観を身につけます。

福岡大学は、薬学部と同じキャンパス内に医学部及び大学病院を有しており、互いに連携し、実務実習など総合医療(チーム医療)教育の実践の場として優れた教育環境を有しています。加えて、多様な理系・文系学部が共存しており、全人教育、教養教育の場としてもふさわしい環境を備えています。

薬学部は、今後とも、医療人としての確固たる倫理観と研究マインドをもって、国民の健康と福祉に貢献する薬剤師ならびに教育・研究者を育成していきます。